キレイでもダメ！

オオキンケイギクは駆除して下さい！

オオキンケイギクとは

- 明治中期に、観賞用・緑化用として持ち込まれ定着しました。
- ５～７月頃に黄色い花を咲かせ、花びらの先端は不規則に４～５つに分かれています。草丈は50～70cm。葉は、細長い楕円形で両面に毛があります。
- **繁殖力が強く強健なため、日本に昔からある植物を駆逐してしまいます。**

なぜ駆除しないといけないの？

- 繁殖力の強い外来植物が、在来種の脅威となっています。
- 河原などの草地に生えるツツザキヤマジノギク、カワラサイコ、カワラナデシコ等の希少な植物を守るため、各地で外来植物の駆除活動が行われています。

外来生物被害予防３原則「入れない！捨てない！拡げない！」

詳しくは 外来生物法

環境省
Ministry of the Environment